

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		橋渡し研究加速ネットワークプログラム		担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度～		担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 板倉康洋			
会計区分		一般会計		施策名	Ⅸ-2 科学技術振興のための基盤の強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	健康研究推進戦略(平成21年7月健康研究推進会議決定)、新成長戦略(平成22年6月閣議決定)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月医療イノベーション会議)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		医療としての実用化が見込まれる有望な基礎研究の成果を有している大学等に対して、開発戦略策定や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援を行う拠点を整備することにより、研究の成果を着実に国民・患者のための医療として定着させることを目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<p>全国7か所に設置した橋渡し研究支援拠点において、研究開発支援に必要な生物統計家・知財専門家等の人材の確保・登用を進め、OJTによる育成を行い支援能力の蓄積と向上を図るとともに、薬事法に定める基準に準拠したレベルで、細胞調製設備(CPC)等の試験物(※)製造設備を整備する。</p> <p>平成23年度より、各拠点の自立した橋渡し研究支援を促進するため、補助事業に制度変更するとともに、橋渡し研究を加速するため、全国7箇所の支援拠点を中核として、地域性や開発シーズの特性に応じた、大学等から構成される橋渡し研究ネットワークを形成している。</p> <p>※ 薬剤や細胞などの候補物質。</p>							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	-	-	3,000	3,268	3,768	
			補正予算	-	-	-	-	-	
			繰越し等	-	-	77	-	-	
			計	-	-	3,077	3,268	3,768	
		執行額	-	-	3,031	-	-		
執行率(%)	-	-	98.5%	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
		基礎研究の成果が薬事法に基づく治験の段階に移行した数		成果実績		-	-	15	
				達成度	%	-	-	107	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		橋渡し研究支援拠点で支援しているシーズの数		活動実績(当初見込み)		-	-	110	-
						-	-	-	()
単位当たりコスト		28(百万円/シーズ)		算出根拠	28(百万円/シーズ) =(平成23年度執行額:3,031百万円)/(支援シーズ数:110)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	研究開発施設共用等促進費補助金	3,152.9百万円	3,583百万円	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 800百万円					
	科学技術試験研究委託費	111.7百万円	181百万円						
	諸謝金等	0.7百万円	0.7百万円						
	職員旅費	0.7百万円	0.7百万円						
	委員等旅費	2.1百万円	2.1百万円						
	計	3,268百万円	3,768百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	第4期科学技術基本計画においても、橋渡し研究拠点を充実、強化するとともに、研究提案を公募し、全国の大学や企業等に拓かれた医療機関ネットワークを構築することとされており、広く国民のニーズが高く、優先度が高い事業である。難病、稀少疾患など、企業が開発をためらう領域のニーズが支援の主な対象であり、国が主導で実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に際しては、有識者から構成される外部評価委員会により選定されており、妥当である。今後、専門的人材の定員化や、自己収入基盤の確立などを進め、5年間で基盤整備費をゼロにすることを目標としており、コスト削減に努めている。費目使途は事業目的に則し、必要なものに限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	実施機関とは別にサポート機関を採択し、進捗管理を委託している。PD、POに協力し、適切な成果目標を立て、達成度は着実に向上しており、実際、これまでに整備した基盤等を活用し複数の基礎研究成果が臨床研究又は治療に移行している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○全ての実施機関について、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査等を実施してきた。</p> <p>○成果報告書の提出、実施機関へのサイトビジット等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について年度毎に確認した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：有望な基礎研究成果を有している大学等に対して、開発戦略策定や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援を行う拠点を整備するものである。</p> <p>2. 所見：本事業の類似事業として厚生労働省事業「早期探索的臨床試験拠点」があるが、相互の運営に関する委員会、成果報告会などに両省が参加し、情報共有、役割分担等確認しながら進めている。引き続き、事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業成果を検証するなど、他府省の類似事業との適切な役割分担を維持するとともに、基盤整備に係る援助を受けずとも運営出来る体制の構築を目指し、積算単価の見直しなどコスト削減に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	<p>本プログラムは、5年以内に国から基盤整備に係る補助を受けずとも運営出来るよう、人員の定員化や自己収入等で充当可能な体制に整備するよう推進していることから、研究開発施設共用等促進費補助金の橋渡し研究支援拠点の整備・運営に係る経費について概算要求に▲240百万円反映した。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>【事業に関する情報】 橋渡し研究支援推進プログラム ホームページ：http://www.tr.mext.go.jp/</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-0050

※平成23年度実績を記入

文部科学省
3,031百万円

委員等旅費 1.4百万円
諸謝金等 0.9百万円
職員旅費 0.8百万円 } を含む

医療としての実用化が見込まれる有望な基礎研究の成果を有している大学等に対して、開発戦略策定や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援を行う拠点を整備することにより、研究の成果を着実に国民・患者のための医療として定着させることを目指す。

[補助]

[委託]

A. 橋渡し研究加速ネットワークプログラム
:2,844百万円
大学等(全28機関)

基礎研究の成果を臨床研究へつなげる「橋渡し研究」の実施、研究戦略や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援。

B. 橋渡し研究加速ネットワークプログラム
支援事業:184百万円
財団法人先端医療振興財団・
独立行政法人科学技術振興機構(全2機関)

財団法人 先端医療振興財団 :150百万円	独立行政法人 科学技術振興機構 :34百万円
-----------------------------	------------------------------

橋渡し研究加速ネットワークプログラムにおける課題採択における審査、研究の評価、事業の管理等の事務を支援。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.国立大学法人九州大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備備品費	近赤外線酸素モニター等	62			
人件費	研究者及び研究補助者	124			
事業実施費	消耗品費、雑役務費等	119			
計		305	計		0
B.公益財団法人先端医療振興財団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者及び研究補助者	50			
業務実施費	消耗品費、雑役務費等	86			
一般管理費	直接経費の10%	14			
計		150	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人九州大学	革新的バイオ医薬工学の医療技術開発拠点	305	企画競争	—
2	国立大学法人大阪大学	TR実践のための戦略的高機能拠点整備	250	企画競争	—
3	国立大学法人京都大学	創薬・新規医療開発のアカデミア拠点形成	245	企画競争	—
4	国立大学法人東京大学	先端医療の開発支援拠点形成と実践	229	企画競争	—
5	財団法人先端医療振興財団	再生・細胞治療の橋渡し研究推進・支援拠点	225	企画競争	—
6	国立大学法人東北大学	医工連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチ拠点形成-未来医工学治療開発センター	212	企画競争	—
7	国立大学法人東京大学	遺伝子組換えウイルスを用いたがん治療開発	206	企画競争	—
8	北海道公立大学法人札幌医科大学	脳梗塞患者に対する自家培養骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による細胞療法の検討	182	企画競争	—
9	国立大学法人北海道大学	オール北海道先進医学・医療拠点形成	150	企画競争	—
10	国立大学法人大阪大学	卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	94	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人先端医療振興財団	橋渡し研究加速ネットワークプログラムにおける拠点サポート	150	企画競争	—
2	独立行政法人科学技術振興機構	橋渡し研究加速ネットワークプログラム	34	企画競争	—